

基本構想(素案)に係る審議会における主な御意見・反映状況等

資料 3

No.	区分	主な御意見・議論等	基本構想(素案)【H29.4.5版】への反映状況等	
				反映箇所
1	基本構想 全体	P D C A サイクル等の用語解説をするべき。	基本構想(素案)に反映。	各頁脚注
2		第4次総合計画の期間内に起こり得る中核市の移行を視野に入れた計画にするのか。	中核市移行については、議会や市民も含め、全体の議論を醸成していく必要があり、今後状況を見極めながら対応。	-
3	将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズ「ずっと暮らしやすいまち 吹田」は漠然としすぎているのではないか。</li> <li>・将来像のキャッチフレーズを掲げるか否かについても、議論をするべきではないか。</li> </ul>	将来像のキャッチフレーズについては、今後、基本計画(素案)の検討を進め、総合計画全体の調整を行う中で、その必要性も含めて再検討を行うこととし、暫定的に空白とする。	P12 Ⅲ. 吹田市の将来像 1. 将来像
4	人口	高齢者の単独世帯の増加が、今後のまちづくりの課題となると考えられることから、世帯数の推計の情報を載せるべき。	基本構想(素案)に反映。	P13 Ⅲ. 吹田市の将来像 2. 将来人口
5		老老介護の問題などがあり、世帯の年齢構成がわかるデータも必要ではないか。	各分野の施策検討等において、必要なデータの分析に努める。	-
6		各分野においても、当該推計を踏まえる必要があることから、総合計画における将来人口の位置づけを示しておくべき。	基本構想(素案)に反映。	P13 Ⅲ. 吹田市の将来像
7		計画期間より長期の人口推計を示していることから、長期的な動向を踏まえる必要性を明記しておくべき。		2. 将来人口

No.	区分	主な御意見・議論等	基本構想(素案)【H29.4.5版】への反映状況等	
				反映箇所
8	適正人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の適正規模を一律に捉えて示すことは難しい。</li> <li>・吹田市の人口も長期的に見ればいずれ減少に転じる。</li> <li>・インフラ等の観点から都市として人口増のピークに対応できる許容範囲内であれば問題ないのではないか。</li> <li>・いずれ人口減少の局面を迎える中で、ピークに合わせて整備したインフラ等が無駄になることが懸念される。</li> </ul>	人口推計から予測される人口増のピークについては、都市として対応できる許容範囲内と考えられる。現段階で総合計画において人口の適正値を一概に設定するのは困難であることから適正人口は記載しない。ただし、長期的な人口動向を見据え、効果的・効率的な施策の推進に留意する必要がある。	-
9	都市空間の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市空間の将来像の記載内容については、都市計画マスタープランの考え方を踏まえたものとなっており、特に問題はない。ただし、政策選択の前提条件となる情報は記載した上で、内容がわかりやすくなるよう示し方に工夫が必要。(示し方の例)</li> <li>・周辺都市との関係性を地図で示す</li> <li>・吹田らしさがわかるよう固有名詞などを盛り込む</li> <li>・用語の整理</li> </ul>	基本構想(素案)に反映。	P14~15 Ⅲ. 吹田市の将来像 3.都市空間
10	施策の大綱冒頭	「地域ごとの特性を生かす」という視点がすべての大綱に共通して重要。	諮問の際には大綱6に記載していた文言であるが、施策の大綱全体に係る内容として、さまざまな取組を進めるための3つの視点とし、箇条書きで整理し、施策の大綱の関係性を図示。	P16 Ⅳ. 施策の大綱冒頭
11	施策の大綱	「想定される施策」について、一部、何の施策かがわかりにくい文言がある。	「想定される施策」は、第3次総合計画の施策体系等を考慮のうえ、暫定的に記載しているもの。今後、基本計画を検討する中で、施策体系や施策の名称等を整理し、改めて「想定される施策」の示し方や文言についても検討予定。	-

No.	区分	主な御意見・議論等	基本構想(素案)【H29.4.5版】への反映状況等	
				反映箇所
12	大綱1 【人権・市民自治】	「個性や能力を認め合う」の「能力」という表現に違和感がある。	基本構想(素案)に反映。	P17 大綱1
13	大綱1 【人権・市民自治】	「社会の構成員として活躍しながら」という表現は、読み手にとっては「活躍しなければダメなのか」と捉えられ、プレッシャーを与えてしまうのでは。		P17 大綱1 P12 Ⅲ. 吹田市の将来像(第4段落)
14	大綱1 【人権・市民自治】	市民同士のコミュニティ活動を市が支援するという考え方を記述した方が、市民もまちづくりを担っていくという姿勢を市民が意識しやすいのでは。		P17 大綱1
15	大綱2 【防災・防犯】	「安心・安全なまちづくりをめざします」といったようなキャッチフレーズを入れてはどうか。	大綱ごとのキャッチフレーズなどを示すことについては、今後検討予定。	-
16	大綱2 【防災・防犯】	「あらゆる災害」よりは「さまざまな災害」と表現する方が、個々の災害に対応するということがイメージしやすいのでは。	基本構想(素案)に反映。	P17 大綱2
17	大綱2 【防災・防犯】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災・防犯の「防ぐ」は受け身である。</li> <li>・ 積極的な姿勢を示す観点や、災害が起こったときの被害を減らすという意味で「減災」の視点を盛り込んでどうか。</li> </ul>		
18	大綱2 【防災・防犯】	災害対応等では特に官民一体となって取り組むことが重要になることから、連携の必要性がわかる表現を盛り込めないか。		

No.	区分	主な御意見・議論等	基本構想(素案)【H29.4.5版】への反映状況等	
				反映箇所
19	大綱2 【防災・防犯】	「防犯のために、吹田市では防犯カメラの配置を全市的に目指しています」など、具体的に書いたほうがよい。	具体的な取組については、基本計画等にて検討。	-
20	大綱2 【防災・防犯】	犯罪やトラブルに巻き込まれた際のアフターケアについての視点を示すべき。	市の役割としては、犯罪の未然防止や啓発が主になるため、相談等のアフターケアに関する取組については基本計画等にて検討。	
21	大綱3 【福祉・健康】	高齢化が課題となる中、高齢者に対する対応や、介護の視点についての表現が少ない。また、地域福祉については、地域的・組織的な取組を行うという表現がどこに入らないか。	大綱3の前半部分に高齢者や介護、地域福祉の視点は含めており、具体的な取組については、基本計画等にて検討。	-
22	大綱3 【福祉・健康】	生活困窮や、福祉教育の推進について盛り込んではどうか。	具体的な取組については、基本計画等にて検討。	
23	大綱3 【福祉・健康】	「子どもの貧困に関する取組」を盛り込むべきでは。		
24	大綱3 【福祉・健康】	子育て支援も福祉に含まれるのでは。	子育て支援は大綱4で位置づけ。	
25	大綱4 【子育て・学び】	大綱の名称について、「教育」は学校教育をイメージし、生涯学習なども含まれていることがイメージしにくい。	基本構想(素案)に反映。	P17 大綱4

No.	区分	主な御意見・議論等	基本構想(素案)【H29.4.5版】への反映状況等	
				反映箇所
26	大綱4 【子育て・学び】	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習は大綱7に位置づけるべきでは。</li> <li>生涯学習の位置づけについては、「高齢者保健福祉計画」にも位置づけられている。大綱としてどこかに位置づけるとしても個別計画では大綱をまたがる。</li> </ul>	生涯学習については、分野横断的に取り組む必要性は認識したうえで、位置づけとしては社会教育の一環として大綱4で位置づける。	-
27	大綱4 【子育て・学び】	子育てと教育を一体的に捉え、学校だけでなく地域社会の住民も一緒になって取り組む必要があることが伝わりやすいような工夫が必要。	基本構想(素案)に反映。	P17 大綱4
28	大綱4 【子育て・学び】	視点を明確に整理してコンパクトにできないか。		
29	大綱4 【子育て・学び】	「保育園がうるさい」「マンションでのあいさつを控える」などの意見が世間で話題になっている。人の気持ちの遊びの部分の部分を大切にすることを盛り込めないか。	今後議論を進める中で考慮。	-
30	大綱5 【環境】	みどりを守るだけでなく増やす姿勢や、市民がみどりや自然に親しみを持てるという観点が必要。	基本構想(素案)に反映。	P17 大綱5
31	大綱5 【環境】	「循環」という文言がわかりにくい。		

No.	区分	主な御意見・議論等	基本構想(素案)【H29.4.5版】への反映状況等	
				反映箇所
32	大綱6 【都市形成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域ごとの特性を生かす」という視点は重要であり、他の施策の大綱でも必要な視点である。</li> <li>・「地域」とはどの単位を指すかが市民にとってわかりにくい。</li> </ul>	基本構想(素案)に反映。 ※大綱6ではなく、施策の大綱(冒頭部分)に反映。	P16 IV. 施策の大綱 冒頭
33	大綱6 【都市形成】	「生かす」の漢字について、活用するという意味では「活かす」を使用してはどうか。	漢字については、第3次総合計画や都市マスタープランなど主要な計画にて「生かす」を使用しているため、統一。	P18 大綱6
34	大綱6 【都市形成】	高齢化が進む中でも、市内の移動が円滑にできるような交通体系の整備を行うなどの方向性を示唆する必要がある。	基本構想(素案)に反映。	P18 大綱6
35	大綱7 【都市魅力】	「都市魅力」に産業と文化・スポーツなどを一緒に盛り込んでいることに違和感を感じる。	基本構想(素案)に反映。	P18 大綱7
36	大綱7 【都市魅力】	一般的には「都市魅力」という文言からは市民の住み心地といった観点が連想されやすいので、一文目と二文目の順序を入れ替えてはどうか。		
37	大綱7 【都市魅力】	創業支援について触れるべき。		
38	大綱7 【都市魅力】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心駅が一つしかないような市ではなく、面的にそれぞれの地域でさまざまな魅力がある市</li> <li>・吹田市は何でもあるが、何をもって都市魅力かといわれると難しい。</li> </ul>	今後議論を進める中で考慮。	-

No.	区分	主な御意見・議論等	基本構想(素案)【H29.4.5版】への反映状況等	
				反映箇所
39	大綱8 【行政経営】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主・自立のまちづくりの主体が市民なのか行政なのかがわかりにくい。</li> <li>・行政が事務・権限の移譲等へ対応することがわかりやすいように記載すべき。</li> </ul>	基本構想(素案)に反映。	P18 大綱8 P9 Ⅱ. 策定の背景 3. 吹田市を取り巻く社会潮流 (6) 地方分権の推進と市民によるまちづくり
40	大綱8 【行政経営】	PDCAサイクル等の意味を説明してはどうか。	用語解説を追加。	P18 大綱8
41	序論	3.吹田市を取り巻く社会潮流 待機児童の問題や男女共同参画に関する内容について、課題検討集の社会潮流に記載があるにもかかわらず、基本構想序論部分から抜けているため、記載すべき。	基本構想(素案)に反映。	P8 序論 3.吹田市を取り巻く社会潮流 (2) 経済情勢と働く環境の変化